

気仙沼向洋高等学校

校訓 尚志 創造 力行



1 基本データ

創立 明治34年
 課程・学科：全日制課程・情報海洋科、産業経済科、機械技術科
 生徒数：282名
 所在地：〒988-0235
 宮城県気仙沼市長磯牧通78番地
 TEL：0226-27-2311
 FAX：0226-27-4413

ホームページアドレス：
<https://kkouyo-h.myswan.ed.jp/>
 電子メールアドレス：
 kkouyo-h@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関
 ・BRT（JR高速輸送システムバス）
 ・(株)ミヤコーバス

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

「新時代の産業を担う若者よ
 集まれ」

(1) 学校の概要 (沿革 環境 施設等)

本校は、今年で創立122周年を迎える歴史と伝統のある専門高校です。前身の「気仙沼町立水産補習学校」は、戦後の学制改革により「宮城県気仙沼水産高等学校」として再出発しました。昭和52年には階上地区に移転、翌年には男女共学になりました。平成6年には校名を変更し、「宮城県気仙沼向洋高等学校」として、3つの学科を有する現在の形に移行しました。

平成23年3月に起きた東日本大震災の影響により校舎が被災し、本吉響高校、気仙沼西高校、米谷工業高校の校舎、施設を借用し、授業を開始しました。同年11月からは気仙沼高校第2グラウンドをお借りして仮設校舎での学校生活が続いていましたが、平成30年8月に階上長磯牧通地区に現在の校舎が完成しました。

(2) 教育方針

個性と創造性の伸長を図り、豊かな人間性を育むとともに、専門的な知識と技術を習得させ、時代の進展に柔軟に対応できる人間の育成を教育目標としています。そのために「自ら学び、学びを活用し、表現できる生徒の育成」「自律し、目標の達成に向けて努力し続ける生徒の育成」「多様な人々と協働できる社会性をもった生徒の育成」「地域とともに歩む『開かれた学校づくり』の推進」「これからの時代に対応した学校経営の推進」に重点を置いています。「尚志・創造・力行」の校訓は「向洋三心」と呼ばれ、向洋生の指針になっています。

(3) 教育課程の特徴

教育内容は、専門高校としての知識技術が習得できるだけでなく、普通科目を多く取り入れた特色あるものになっています。幅広い視野で物事を判断し、様々な社会分野に適應できる人材の育成を目指しています。

また、2年次から希望に応じ2つの類型に分かれます。(情報海洋科は1年次から)

情報海洋科 海洋類型
 情報電子類型
 産業経済科 フードサイエンス類型
 フードビジネス類型
 機械技術科 生産技術類型
 情報技術類型

海洋類型は、海の利用や航海に関する専門知識などを学びます。潜水実習や小型船舶の沿岸航海、宮城丸による航海実習などがあり、海技士や1級小型船舶操縦士など多くの資格が取得できます。

情報電子類型は、電気・電子・情報・通信の分野を専門的に掘り下げてその働きや利用について学びます。それらを生かして無線技術士や無線通信士、工事担任者等の多くの国家資格を取得させ、それぞれの特徴を生かして航空産業や宇宙開発事業から情報通信産業までの就職や電気・電子等、工業系の大学や専門学校への進路に結びつけています。

産業経済科は、安全・安心な食品の開発・製造・流通まで幅広く学びます。実習では実際に学校の工場で食品を造り、製品は校外で販売を行います。2年次からのフードサイエンスとフードビジネスの類型別学習では、それぞれ食と簿記会計の学びを深めます。3年次には新たに観光についても学習し、地域資源についての探究学習に結びつきます。また、選択科目を設置し希望進路に応じた学習環境も整えました。両類型とも多くの検定に挑戦できます。

機械技術科は、機械や電子回路、プログラミングに関する基本的な知識と技術を学びます。ロボットや自動車を題材に、様々なものづくりや制御法・操作法について学習します。生産技術類型は、生産加工、特に材料・加工技術・品質管理について深く学びます。情報技術類型は、コンピュータ制御、特にソフトウェア製作について深く学びます。両類型とも、技能検定や情報検定などの国家検定、溶接やロボット教示などの国家資格を取得できます。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

運動部には12の部、文化部には4つの部があります。運動部では、ヨット部をはじめとする多くの運動部が、各種大会で上位入賞を果たしました。文化部においても、ハイテク部の生徒が大会で入賞するなど専門高校の特色を生かした部が活躍しています。さらに、震災の記憶を語り部として引き継いでいくKSC(向洋語り部クラブ)も、多くのメディアで紹介されました。

学校行事においては、6月の「体育祭」と10月の「向洋祭」が学校行事のメインとな

っており、生徒たちの若さとエネルギーに溢れる行事となっています。そのほか、「野外活動」や「修学旅行」(2年)、そして「宮城丸出港式」などがあります。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R4	R3	R2
大学	6	14	12
短期大学	2	6	5
専門学校	43	32	38
就職(県内)	36	35	35
就職(県外)	16	17	18
その他(船舶等)	3	5	4
卒業生計	106	109	112

主な進路先(令和5年3月卒業生)

()内は人数 (1)は省略

<大学>石巻専修大学(2)、北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ、日本工業大学、東北医科薬科大学、仙台大学、東北学院大学<短期大学>東北職業能力開発大学校、東北生活文化大学短期大学部、仙台青葉短期大学<専修各種学校>仙台ビューティーアート専門学校、葵会仙台看護専門学校、気仙沼向洋高等学校(6)、気仙沼高等技術専門学校(4)、宮城調理製菓専門学校、宮城文化服飾専門学校、国際医療福祉専門学校一関校、国際医療福祉専門学校一関校 他

<就職>気仙沼漁業協同組合、ぜんぎょれん食品株式会社、株式会社足利本店、東洋冷蔵株式会社東北支店、株式会社角萬、株式会社ミヤカン、株式会社阿部長商店 サンマリン気仙沼ホテル観洋、株式会社カネダイ、気仙沼信用金庫、社会福祉法人なかつみ会 特別養護老人ホーム恵心寮、一般財団法人休暇村協会休暇村気仙沼大島、株式会社ヤヨイサンフーズ 気仙沼工場、株式会社気仙沼商會、株式会社、株式会社高橋住研、社会福祉法人春園会(2)、雪ヶ谷精密工業株式会社、株式会社クマケー建設、東日本船舶株式会社、株式会社ホテル佐勤、株式会社日本空調東北、株式会社ユーワ技研、コスモスクエア株式会社、株式会社登米精巧、日本通運株式会社 東北重機建設支店、東邦電気工業株式会社、コスモシステム株式会社、高橋住研、三宝化成工業株式会社東北支社、明神水産株式会社、太平洋フェリー株式会社、日本無線株式会社、トヨタ自動車東日本株式会社、日産自動車株式会社(2)、鹿児島船舶株式会社、株式会社AHB、株式会社オンデーズ、株式会社ザ・キッド、株式会社TRANS-K 他<公務員>宮城県職員(水産)、登米市消防職員、自衛官候補生(陸上)、自衛官候補生(航空)

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

産業経済科、研究発表会で 優秀賞受賞！

令和4年10月28日に、山形県立加茂水産高校で開催された第31回全国水産・海洋高等学校生徒研究発表会東北地区大会において、産業経済科3年生3名が優秀賞（第2位）を受賞し、12月には秋田県で開催された全国大会へ出場しました。

3名は水産廃棄物であるホヤ殻に含まれるタンパク質が魚の餌に転用できないか調べるため、実験室の水槽でヒラメを飼育し、その研究をまとめて発表しました。写真は文化祭での発表の様子です。



(2) 学校行事

体育祭

例年6月に、2日間にわたり校内体育祭が開催されます。1日目は球技種目、2日目は運動会種目を行います。各クラスで競技の出場メンバーや作戦を練り、クラス一丸となり優勝を目指し、クラスメイトとのつながりが強まる行事です。

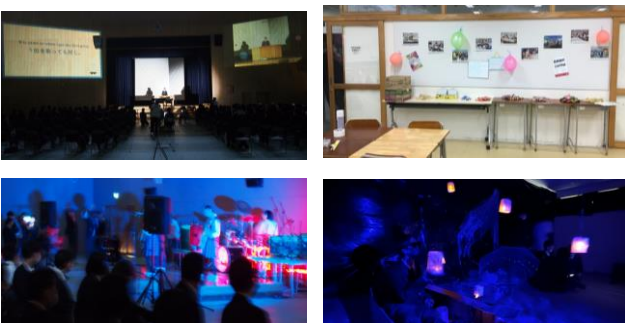


向洋祭

文化祭テーマ「花様年華 ～輝く瞬間～」

令和4年10月21日（金）、22日（土）の2日間にわたり、校内文化祭が盛大に開催されました。

21日（金）の校内発表では、産業経済科による研究発表や英語スピーチ、軽音楽部のステージ発表など、とても見応えのある内容でした。22日（土）の一般公開では、各クラスが工夫を凝らした模擬店を出店し、本校生徒や保護者から大変好評でした。



(3) 学校制服紹介

気仙沼向洋高校の制服はブレザータイプで、すっきりとしたスタイルとなっています。女子もスラックスを選ぶことができます。海をモチーフとした青いネクタイとリボンは、清潔感があり生徒の誠実さを引き立たせます。在校生にとっても好評のデザインとなっています。



(4) 施設紹介

平成30年8月に新校舎が完成。校舎は4階建てで、窓からは大海原を見渡すことができ、とても開放的な構造になっています。校舎棟と実習棟があり、充実した教育環境が整っています。専門的な学習を行う教室として、航海計器室、ダイビング教室、電気磁気室、無線実線室、加工調理室、食品デザイン室、切削加工室CAD室などがあります。各科の授業では、様々な装置や設備を活用しながら、専門的な知識や技術を習得しています。



4 在校生からのメッセージ

生徒会長 情報海洋科3年 鈴木朔弥さん（階上中出身）

みなさんは高校生活について、どのようなイメージを持っていますか？「仲間と楽しく過ごすことができそう」「勉強が大変そう・・・」など、色々あると思います。

私が今日まで過ごしてきた気仙沼向洋高校には、みなさんの目標を達成するために必要な環境や設備があります。また、長期航海や缶詰製造など各科特有の実習があります。

高校生活の3年間は長いようで短いものです。私も来年の3月には気仙沼向洋高校を卒業しますが、後に続いて入学する中学生の皆さんも、高校生活3年間悔いのない有意義な時間となるようにしていきましょう。